

帯広市立栄小学校 学校便り

# さかえ



令和4年5月19日発行

【学校経営の重点】

## 「和顔愛語 笑顔溢れる栄小学校」

～質の高い日常実践を通して～

【キャッチフレーズ（児童）】

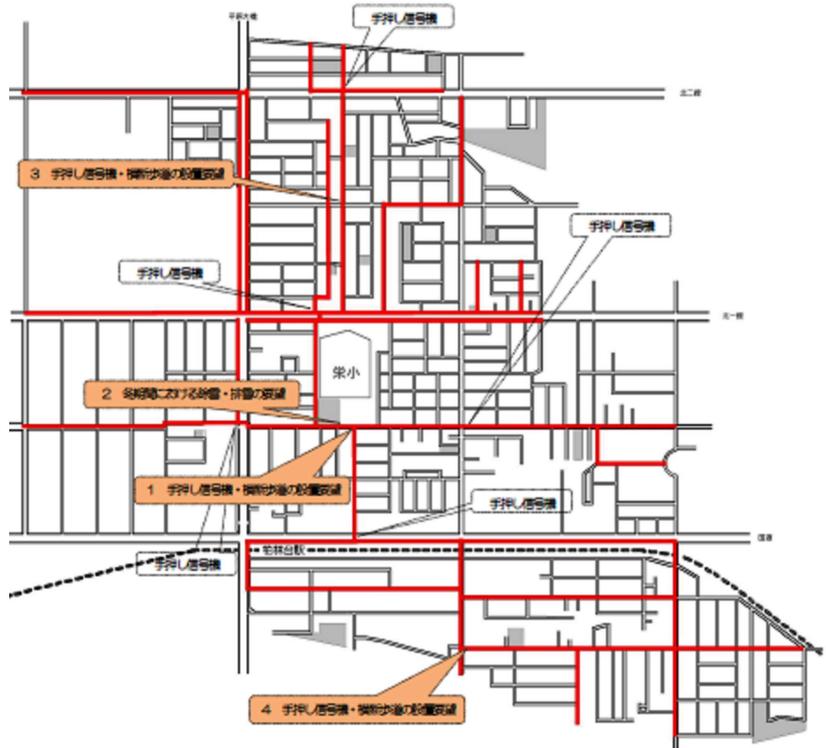
### 「あたり前のことが あたり前にできる 栄っ子」

## たくさん発表してくれたので、とても楽しかったです！

5月11日（水）帯広市交通指導員の方々を講師として、5・6年生を対象に「自転車教室」（下の画像）を開催しました。「自転車教室」は動画を使いながら質疑応答形式で行われました。「自転車教室」終了後、交通指導員の方々から「子どもたちの反応がとても良く、自分の考えをたくさん発表してくれたので、とても楽しかったです。」という感想をいただき、とても嬉しく思っています。



先日、帯広市教育委員会に対して、右記箇所の手押し信号機・横断歩道の設置及び冬期間における除雪・排雪の要望を行いました。今後は、帯広警察署・帯広市土木課・帯広市道路維持課等の立ち会いの下、右記箇所の危険性を更に訴えていきたいと思います。



## おもしろい！なるほど！～歓声上がる国語の授業～

「この町の住人になりきって、町やまわりの様子を紹介する文章を書こう」というテーマの下で国語の授業を行いました。条件としては、教科書の挿絵にある「農家」や「畑」などの漢字を使うことです。例えば、「私の家は農家です。春には、畑にたくさんの野菜のなえを植えます。」となります。

これまでの子どもたちの様子を見てみると、すぐに文章を書くことができる人もいれば、すぐに書くことができない人もいます。そこで大活躍するのがGoogle Classroom（画像）です。自分が考えた文章がすぐに表示されるため、教師や友達からコメントをもらえます。また、友達の文章をリアルタイムで見ることができるため「おもしろい！」「なるほど！」と言いながら歓声上がるなど、子どもたちはとても楽しそうに学習していました。



## ふるさと帯広に対する誇りと愛情を育みたい！

4月15日（金）には1年生を対象（左の画像）、5月10日（火）には2年生を対象（右の画像）に横井栄養教諭が「おびひろ市民学・食育」の授業を行いました。「おびひろ市民学」は帯広市の豊かな自然環境や歴史、伝統、文化、産業、地域住民との関わりを通して、ふるさと帯広に対する誇りと愛着を育み、地域社会の一員として、よりよい地域づくりに関わる子どもを育てることをねらいとしています。

本校では、横井栄養教諭による食育の授業を全学年で実施し、特に第3学年以上の総合的な学習の時間においては十勝・帯広の素材を活かした野菜作りを通して、十勝・帯広の作物の特徴を知り、食育への意識を高めることを目的とした取組を推進しています。



## 2年生の成長に感動！学校探検、大成功！

先日、1年生と2年生による学校探検が行われ、2年生が1年生を案内しながら校舎内のいくつかの場所を訪れていました。

校長室を訪れた際には、2年生が1年生に対して「校長室に入るときには、失礼しますと言ってから入って下さい。」「これは校長先生が仕事をする机です。」「これはお客さんが来たときに座るソファです。」など、その説明の仕方が見事であり、感心しながら、その様子を見ていました。

昨年、入学した当初から学校での様子を毎日見てきた2年生の成長をととても嬉しく思うとともに感動しています。2年生の言うことをしっかり聞きながら学習している1年生がととても可愛かったです。



## 学校生活を楽しもう！児童会事務局の取組に期待！

先日、児童会活動が行われ、児童会事務局では「学校生活を楽しむ」というテーマの下、活発な話し合いが行われていました。

話し合いの結果、各学級で2問程度のクイズやなぞなぞの問題を考え、タブレットのリモート機能を使って、全校でクイズ大会を開催し、みんなで楽しもうという企画になりました。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、様々な制限がある中での児童会事務局のアイデアを生かした提案に大きな魅力を感じています。

これからも失敗を恐れず、アイデアを生かした取組を進めてほしいと思っています。児童会事務局のメンバーは次のとおりです。

児童会会長	黒沼 葵（6年2組）
児童会副会長	三島龍之助（6年1組）
	野澤 彩音（5年1組）
児童会書記	佐藤 遼旺（6年1組）
	町田 彩夏（5年1組）
児童会議長	神谷 真慧（6年1組）
	大塚 野乃（5年1組）

